

## 食を通じて豊かな心を育む取組

家族や友人と楽しみながら食事をとることなど「食を楽しむゆとりの積極的な確保」、家庭での料理や作物栽培体験、都市と農村との交流など「体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進」、郷土料理や伝統料理などの食文化の継承や食事作法の習得など「日本の食文化や郷土料理等の理解と継承」について取組を行いました。



### 1 食を楽しむゆとりの積極的な確保

#### 和食の日の献立を通して和食に関心・興味をもつ

春日井市青少年子ども部保育課 玉川保育園

●実施時期：11月25日

●対象者：園児

●内容

和食に馴染みのない子どもたちのために、和食の日にちなんだ、だし汁がおやつに提供されることから、だしはどんなものからできているか、何から味が生まれてくるのか等の興味・関心につながるよう、だしに使用した昆布や鰹節を調理室から出してもらい、子どもたちに匂い、見た目、触感などを体験できるようにしました。

●活動の成果、今後の課題

だしをおやつでいただくだけでなく、昆布や鰹節を実際に見て、嗅いで、触ってみることで、これからこんな味が出てくるんだ、このだしが味噌汁を美味しくするんだなど、子どもたちは興味をもって味わうことができました。その姿や取り組みを保護者に伝えることで、家庭との連携や親子の会話も生まれ、食に対する関心も高まっています。今後も引き続き栄養士や調理士の思い、大事にしていきたい食への思いを子どもと保護者に伝えていきたいです。

●継続した取組の変遷について

和食の日にちなんだメニューが毎年工夫されているため、大事に子どもたちに伝えていきたいと考え、内容に合わせて伝えるようにしています。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 食材に親しむ体験の実施

日進市

●実施時期：通年

●対象者：公立保育園 園児

●内 容

毎日の保育のなかで、実際に給食に使用する食材に触れて親しむ機会を設けています。毎年園庭で野菜栽培をしています。今年度はトマト、さつまいも、米などを育てました。またクッキング保育として、子ども自らがおにぎりづくりやおはぎづくりをしたり、たけのこやとうもろこしの皮むきなどの素材と親しみながらの給食準備のお手伝いをしたりなどの体験を実施しました。毎日の保育のなかで、食材の実際に給食に使用する食材に触れて親しむ機会を設けています。

●活動の成果、今後の課題

栽培した作物を給食に用いたり、給食で使用する食材を活用した活動のため、無理なく無駄なく食育活動を進めることができます。今後も日常の保育のなかで食育体験を実施していきたいと思います。

●継続した取組の変遷について

食材に触れる、自ら調理に携わる体験は保育の一環として長年行ってきたものです。コロナ禍で接触が制限される部分も多く、おにぎりづくりなどの作業がひとりで完結する形式のクッキング保育の比率が増大しています。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 献立ボードをつくろう！

愛西市立佐屋中央保育園

●実施時期：2022年12月～2023年3月

●対象者：年長児

●内 容

園では、その日の給食メニューを献立ボードにて紹介しています。メニューを書いたり、使われている食材を赤・緑・黄色の3色の栄養素分けをしてボードに貼ったりして、保護者や園児にわかりやすく、メニューと食材、その栄養を掲示しています。年長児が栄養士から3色の栄養素について学んだことを生かし、食材を3つのカテゴリーに分けながら栄養について考える機会を作り、使われている食材にも興味・関心をもてるようにしています。

●活動の成果、今後の課題

年長児は、使われている食材、その栄養素に改めて関心を持ち、知識を深めたり、給食が栄養バランスよく提供されていることを実感できます。また、他の園児も、通園時に保護者と「今日は何かな～」と会話が弾んだり、楽しみにしたりする様子があります。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 献立について

### へきなんこども園

- 実施時期：年間通して
- 対象者：園児
- 内 容
  - ・献立を立てる際、彩りにも気を付けるようにしています。
  - ・三温糖にしたり、旬なもの、地産地消を心掛けて献立をたてています。
  - ・一週間に70品目を目指して献立メニューを考えています。
  - ・調理師が毎月食育をテーマに新聞を作っています。子ども達に人気の食事やおやつレシピを載せ、欲しい人には持ち帰れるようになっています。
  - ・支援センターでも毎月「ばくばく」という食育だよりを発行。食育や子育てのアドバイスなども掲載し、地域の公民館や図書館にも置かれています。
  - ・異文化…年に1回「リトルワールド」という行事を行っています。テーマの国を決め、その国の食事やおやつを食べます。今年度は日本の面積に近い国、日本の人口に近い国、水道水が飲める国などを調べて展示をしました。
  - ・園児の体重・身長推移を見守っています。
- 活動の成果、今後の課題
  - ・園での食事の様子を伝えると保護者が驚く程食べているそうです。今後も子どもの食べる意欲のわく食事を心掛けていきたいです。
    - ・持ち帰り用レシピは毎回なくなる程好評です。
    - ・子ども達自ら日本以外の事に興味を持ち学びます。
    - ・普段食べているものでも、外国のものがあると知ることができます。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 「いわくらをたっぷり味わおう週間」

### 岩倉市

- 実施時期：1月24日から31日まで
- 対象者：全小中学校児童生徒
- 内 容
 

新しい給食メニューを実施するため、小中学生の自由なアイデアで、「岩倉の給食といえばこれ！」と言える岩倉市の定番メニューを募集しました。岩倉市の特産物を含む使用食材や料理方法、味付け、味付けのりのパッケージイラストを使用した「ゆめミールの特別メニュー」を、全国学校給食週間に合わせて実施しました。
- 活動の成果、今後の課題
 

アイデアは全部で200名以上の小中学生から応募があり、選ばれた8品のメニューと8作品のパッケージイラストが献立として提供されました。食材に岩倉産の地元食材を多く使用することにより、地元の農産物に対し関心を深めることができました。

1月27日に実施した「ふれあい給食会」では、南部中学校に市長や地元生産者を招いて試食をし、給食時間に生徒の様子を見て回りました。

アイデア献立名：いわくら市チュー、いわコロ、い〜わくんの健康みそ汁、岩倉自慢のさくらうどん、みんな大すきい〜わくんのみどりがおいしい〜わ、岩倉いっぱいポカポカ鍋、いわくらーメン、い〜わくんのスペシャルカレー



取組項目：学校給食による感謝の心や美味しいと感じる味覚の育成、会食の楽しさ等の実感（取組場面：学校）

## 2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

### フィンランド式食育体験

豊橋市

●実施時期：2023年3月12日

●対象者：市内在住3～5歳の子どもの保護者15組

●内容

子どもが野菜に興味を持ち、好きになってもらうことを目的に、野菜をよく見て、しっかりさわり、においをかいで、音を聞き、味わう「サペレメソッド」の教室を開催。このサペレメソッドは、フィンランドで実施されている食育プログラムです。

●活動の成果、今後の課題

今回のように、地元食材が集まる道の駅にて食育イベントを実施することで、参加した市民が食材を購入したり、再来場したりするなど、その後の行動につながるものと期待できるため、今後も道の駅を会場とした食育イベントを開催していきます。

●連携について(連携先：一般社団法人味の教室)

日本栄養士会の会員向け冊子に、フィンランド式の食育を展開する一般社団法人味の教室の代表である染井氏の記事が掲載されていました。

食育が進んでいるとされるフィンランド式の食育を本市としても学びたく、今回の講師を染井氏にお願いすることとしました。



取組項目：家庭での食とふれあう機会の大切さの啓発（取組場面：地域）

### 野菜の栽培

尾張旭市立本地ヶ原保育園

●実施時期：5～2月

●対象者：5歳児

●内容

【目的】夏・冬野菜の栽培を通して、野菜を育てることへの関心を高め、収穫の喜びを感じ、さらに食べる意欲へ繋げていきます。また、栽培する中で地域ボランティアの方と関わり、交流を深めていきます。

【内容】

- ・グループごとに栽培する夏野菜・冬野菜を決め、苗植えをし、世話をします。
- ・収穫した野菜を調理してもらったり、給食の食材と一緒に調理してもらったりして食べます。また、他クラスの友だちにも食べてもらいます。
- ・栽培する中での疑問点を地域ボランティアの方に聞いて解決し、世話をすることを楽しみます。

●活動の成果、今後の課題

苗が少しずつ実となり、大きく生長する様子を間近で見ているうちに愛着が生まれ、食することへの意欲が高まってきました。また、苦手な野菜もクラスで育て収穫した喜びから食べる意欲へとつながっていきました。地域ボランティアの方との交流も回数を重ねることで親しみを持ち、接する姿が見られました。今後の課題として、コロナ禍であったため、子ども達自身が調理する機会を持てなかったため、今後どのように取り入れていけるか考えていきたいです。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## 園としての食育計画 ～お祝いの赤飯を作ろう～

豊山町立富士保育園

- 実施時期：お米の栽培 2022年5月～10月  
小豆の栽培 2022年6月～10月  
赤飯の調理と提供2023年3月
- 対象者：園児 3歳児～5歳児（幼児組）

### ●内 容

家庭で赤飯を作る事や食卓に並ぶことが減っている中で、自ら育てたお米や小豆を使用して赤飯を調理し食べることで、赤飯の伝統や由来など様々な経験から学びに繋がると考えました。また、収穫までの過程を経験することで、色々な食材や調理に対する感謝の気持ちや食に対する興味や関心が深まると考え、取り組みました。

発砲スチロールに土や水を入れて、苗を植えたり、毎日水を足したりしながら生長を観察しました。稲刈り後は、牛乳パックで一本一本脱穀を行い、2月末頃に玄米を持って精米所に行き、精米しました。

3月15日のおやつ時間に、ラップの上に赤飯をのせて各自でおにぎりを作って食べました。

### ●活動の成果、今後の課題

稲の生長を園全体で観察しながら、各年齢に合った声かけをすることで、発達段階に合わせた学びに繋がりました。園庭の観察しやすい場所に稲を設置した事で、登降園時に保護者と園児と一緒に観察する姿もあり、とても良い経験となりました。

今後も継続して様々な食材を育てることで、食に対する良い学びに繋がっていかうと思います。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## ブロッコリーの栽培

碧南市立天道保育園

- 実施時期：10月～2月
- 対象者：年長児(26人)

### ●内 容

表示を付けずに植えたブロッコリーの苗を見て「これ、何？」「野菜？」と興味をもって見ていた年長児。だんだん生長する様子を見て「ブロッコリーだ」と気づき始めました。大きく生長すると「給食で食べたい」という声が出たので、みんなで収穫をしました。ブロッコリーを持ってみると「重い！」「大きいね」と驚いている子もいました。みんなで給食室へ持って行き、塩ゆでにしてもらいました。野菜が苦手な普段はあまり食べない子も「これは食べる！」と進んで食べていました。

### ●活動の成果、今後の課題

表示を付けなかったことで「何になるんだろう」と興味をもちながら生長の様子を見ることができました。自分たちで育てたり収穫したりした野菜は特別おいしく感じる事ができました。夏野菜だけでなく、他の季節の野菜にももっと関心を持たせていきたいと思っています。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## さつまいもの栽培・収穫をして調理しよう

吉浜さんさん保育園（高浜市）

- 実施時期：2022年5月～12月
- 対象者：5歳児（24名）、4歳児（23名）
- 内 容

野菜の栽培・収穫から調理をして食べる経験を通し、食べ物や食に関わる人への感謝の気持ちを持ってほしいという思いからさつまいもの栽培をしました。5月に畑を世話している方と一緒に苗植えをしました。収穫までの間、園児も水やりを何度か行い、11月に子どもたちで芋掘りをしました。2週間ほど熟成させ、さつまいも餃子作りをして食べました。普段食べている物ができるまでに関わっている人を知ることや、自分の育てた野菜を皆で食べることのおいしさを感じることができました。

### ●活動の成果、今後の課題

さつまいもという身近な野菜を通して、食べ物への感謝の気持ちや、野菜に興味・関心を持つことができました。芋の種類の違いを学んだり、自分たちで皮むきをやったりしたことで、よりクッキングを楽しむことができました。今後も様々な野菜に触れていくことで、作物の成長や収穫の喜が体験できるようにしていきたいと思えます。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## こどもクッキングいちのみや

一宮市保健所 健康支援課

- 実施時期：2022年7月29日、8月30日
- 対象者：一宮市内の小学生とその保護者
- 内 容

第2次健康日本21いちのみや計画における「食育の推進」を目的とした事業として実施しました。コロナ禍において参加者が安心して参加できるよう定員を縮小、感染対策をとり、調理実習試食を実施しました。健康支援課は「食」を通じて、市民、企業、ボランティア団体が繋がり、事業が円滑に実施できるよう企画、調整、準備等の後方支援を担当しました。農業協同組合へ地産の食材「あいちのかおり米（愛知県産）」と「なす（一宮市萩原町産）」を協賛、修文学院高等学校食物調理科の生徒に調理実習講師と保護者への健康教育を依頼しました。また一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会へ調理補助の協力を依頼しました。

### ●活動の成果、今後の課題

小学生と、修文学院高等学校生、調理補助協力をされたボランティアの皆さんのマスク越しではあるが調理中の和やかな雰囲気印象的でした。この事業を通じて食の大切さを伝え、人々をつなぐことができたと思います。市民の野菜摂取や地産地消への意識向上につながるこのような事業をこれからも企画、実施していきたいと思えます。

### ●連携について(連携先：修文学院高等学校、愛知西農業協同組合、一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会)

修文学院高等学校食物調理科の高校生へどのような事業なら参加してみたいかとのアンケート調査を実施しました。結果「講師をしてみたい」という意見が複数あり、事業企画の際にこの意見を取り入れ、高校生と意見交換を行い、事業を実現しました。また、地元の企業との連携として愛知西農業協同組合より、あいちのかおり米（愛知県産）なす（一宮市萩原町産）提供を受け、市民との協同事業となるよう一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会には調理補助を依頼し、産・学・官の連携を意識し事業企画を行いました。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進(取組場面：地域)

## 親と子の栄養教室

江南市

●実施時期：2022年7月26日・8月4日・8月23日

●対象者：市内在住の小学生とその保護者

●内 容

江南市では、夏休みに小学生を対象とした「親と子の栄養教室」を保健センターで開催しています。この教室では、親子でコミュニケーションをとりながら、「食べる」ことへの興味・関心を引き出すことを目的としています。

今年度は「すがたを変える米」をテーマに講義・調理実習を通して理解を深めました。講義では、米からせんべいや五平餅などの食品や調味料など、どのようにすがたを変えていくかを写真やイラストをもとに学びました。また様々な種類の米を実際に触り見比べることで違いを学びました。調理実習では、五平餅と夏野菜ののっぺい汁を作りました。

●活動の成果、今後の課題

計13組31名の方が参加しました。米に関するクイズでは親からも驚きの声があがりました。またアンケートでは「包丁や火が使えてよい経験になった」「子どもと一緒に作れるメニューだったので作ってみたい」という意見がありました。

1人当たりの年間消費量が減少している米について、親子で考え見直すいい機会になったと思います。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進  
(取組場面：地域)

## 親子魚料理教室

蒲郡市農林水産課

●実施時期：2022年11月

●対象者：市内小学4～6年生とその保護者

●内 容

魚の知識の取得及び水産物の消費拡大を目的に地元で水揚げされる水産物を使用して魚料理教室を開催しました。

今回は、地元で水揚げされたキンメダイとスルメイカを使用し、キンメダイの炊き込みごはんとイカリングサラダを作りました。参加者からは、「簡単で家でも出来る、もっと魚を食べたくなった」といった感想がありました。

●活動の成果、今後の課題

本教室が魚や魚料理に関心を持つ機会にはなっていますが、一過性のものとするのではなく、継続的に水産物の地産地消につなげる必要があります。

●連携について(連携先：愛知学泉大学 石川講師)

2004年4月に蒲郡市漁協女性部連絡協議会との意見交換の中で、水産物の消費について、「魚の食べ方を教えなければ食べない」、「学校給食では地元の魚があまり使われていない」などの意見があり、地元で水揚げされる魚を使用した料理教室を開催しようという動きになりました。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進  
(取組場面：地域)

## 幸田町子ども食育体験教室

幸田町

- 実施時期：2022年8月23日
- 対象者：小学4～6年生20名
- 内 容

今年度は子ども達にとって給食等で身近な食材である牛乳に注目しました。都市近郊の資源循環型牧場で酪農の知識を学ぶことで、食の在り方について考える機会とすることが目的です。

西尾市の小笠原牧場を訪問。牧場主の方から詳しい説明を受けながら、牧場を見学し、実際に餌やりや乳しぼり、チーズ作りを体験しました。牧場の牛の排泄物で作ったたい肥を使って、牧場周辺で牧草を育てて牛の餌とする様子も実際に見学でき、これからの酪農の様子を感じ取ることができました。



### ●活動の成果、今後の課題

開催後アンケートを実施したところ、酪農への理解が深まった喜びの声が多く寄せられました。今回のテーマは参加希望者が多く、募集の倍以上の人数が応募してきたため、落選した子供たちも多かったことは今後の課題といえます。より大人数で参加できるイベントにできるといいですが、受け入れ先の負担も考えて調整していきたいです。



### ●連携について(連携先：愛知県酪農農業協同組合)

愛知県酪農農業協同組合のホームページで、見学等の受け入れをしている牧場を探して依頼したところ、愛知県酪農農業協同組合の職員に当日教室の手伝いとして参加を申し出てくださいました。



取組項目：生産者等と学校の連携による計画的な体験学習の環境づくり(取組場面：学校)

## 「家族でほっこり さといもさん家の絶品レシピ ～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト

刈谷市

- 実施時期：2022年7月～12月
- 対象者：市内小学校5・6年生とその保護者
- 内 容

食育への意識向上を目的に、夏休みの期間を活用して親子で話し合い、しょくまるファイブ5色すべてが含まれ、かつ刈谷市特産品であるさといもを使用したレシピを小学校5・6年生から募集しました。

コンテスト本選では、822件の応募の中から書類審査を経て選出された5つのレシピの考案者5組に参加していただき、親子での調理や、審査員による食味審査を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちが家族と一緒に、しょくまるファイブの5色(主食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品)がそろった料理を作って、食べることの大切さや地元の農産物の美味しさを知り、食への感謝の心を育てるきっかけになりました。



取組項目：調理実習や料理コンテスト等を通じた食の知識や調理技術の習得、食事を作る人への感謝の気持ちの育成(取組場面：学校)

## 稲作体験

春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）

●実施時期：2022年5月28日、6月11日、10月22日、11月12日

●対象者：小学生とその保護者

●内容

地域農業への理解を深めるとともに、自然の恵みや豊かさを実感し、食に関わる人に感謝する心を育むため、ふれあい農業公園に隣接する水田において、市内生産者の協力のもとで田植えや稲刈りなどの稲作体験を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

16組の親子（子どもは18名）が参加し、参加者からは普段できない体験ができてよかったとの声を多数いただきました。

●新規取組について

ふれあい農業公園の近隣の水田において新たな事業を展開することで、市内の主要な地域農業への理解を深めるとともに、農業公園の更なる魅力向上に資することを目的として開始しました。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの  
取組推進（取組場面：地域）

## 食育イベント（ラムネ作り体験・おやつに関する紙芝居など）

長久手市

●実施時期：2022年6月26日

●対象者：市民

●内容

（目的）

幅広い世代への食育の推進・第3次長久手食育推進計画のPR

（内容）

食育に関心がある、市内の幅広い年代の方々に対して、民間企業の協力を得てラムネ作り体験やおやつに関する紙芝居、市内産の野菜を販売したり健康飲料の試飲を行うマルシェ、食育推進支援会議委員作成のレシピの配布などを行いました。

●活動の成果、今後の課題

100人を超える参加者がいましたが、イベントの参加者を対象にすると、人数が限られてしまいます。不特定多数の方への食育の推進や、食育を自分事として認識してもらうことが難しいので、今後の課題としたいです。

●新規取組について

食育推進支援会議があるものの、イベント開催など食育について委員が直接関わる事業がなかったことから。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの  
取組推進（取組場面：地域）

## 第10回とよかわおもてなしレシピグランプリ！

豊川市産業環境部農務課

●実施時期：2022年12月1日～2023年1月13日

●対象者：市内在住・在勤者

●内 容

第3次豊川市食育推進計画における「地産地消の推進」として、豊川市産の農産物の認知・消費の啓発を図ることを目的に「とよかわおもてなしレシピグランプリ！」を開催しています。

10回目となる今回は、ハーブにスポットを当て、「豊川産ハーブを使用したやみつきレシピ」のテーマで募集を行いました。

一次審査を通過した作品について、2月18日（金）に試食審査を実施し、最優秀賞・優秀賞等を決定しました。

<https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/sangyo/nogyo/nogyoshinko/6omotenasi-recipe-gp.html>

●活動の成果、今後の課題

全14件の応募がありました。食育関係各課でレシピによる一次審査を行い、通過した作品について審査員による二次審査を行いました。

受賞したレシピを実際に市民に味わっていただける場を設け、PRしていくことが課題として挙げられます。



最優秀賞  
「青じそとえごま入りピカタ2種&とろ〜りサクサク油揚げ」



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進（取組場面：地域）

## 3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

### 地元の旬を味わう和食給食の日

弥富市小中学校

●実施時期：11月

●対象者：市内小中学生

●内 容

学校給食において、愛知県産の食材を使用した「地元の旬を味わう和食給食の日」を市内全小中学校で実施しました。11月24日の「いい日本食の日」に合わせ、当日の献立は「ご飯、牛乳、めひかりフライ、里芋と大根のそぼろ煮、小松菜のごま酢和え」としました。里芋や大根、小松菜などの旬の野菜を使用し、地元の食材である愛知県産めひかりを使用しました。だしを使って素材の味を引き立たせたり、魚を主菜に使用したりするなど、和食の特徴を感じられる献立となるよう工夫しました。また、給食に使われる食材の紹介資料を作成し、児童生徒に啓発を行いました。

●活動の成果、今後の課題

地元でとれる食材を給食に積極的に使用することで、児童生徒に自分たちの住む地域の自然、文化、産業に目を向けさせるとともに、農家の方の苦勞や願い、作り手や自然への感謝の心を育むよい機会になっています。

今年度より地域の青果組合と連携し、愛知県産の食材を月に1回2品目までに限り、使用可能となり「愛・地産給食」と称して提供しています。しかし児童生徒への啓発が不十分であったため、行事食としてあまり浸透しませんでした。その反省を踏まえ、来年度は農家さんとも連携し、インタビューを行ったり、育成・収穫の過程を写真等で共有したりして啓発を行っていきます。



取組項目：学校給食への導入促進や体験との関連づけ、「愛知を食べる学校給食の日」の年3回実施（取組場面：学校）

## 道の駅にしお岡ノ山における「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売

西尾市産業部農水振興課

- 実施時期：通年
- 対象者：道の駅にしお岡ノ山訪問者 他
- 内 容

先人の知恵が詰まった地域の文化でもある、郷土料理を次世代に継承していくことを目的として、西尾市食育推進会議監修のもと、道の駅にしお岡ノ山にて「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売を開始しました。現在、核家族化等を理由に郷土料理の継承が希薄していることから、長年伝えられてきた郷土料理の美味しさを多くの方に知ってもらいたい、という思いを込めて、西尾市の魅力が詰まった驛弁を作成しました。



### ●活動の成果、今後の課題

11月に販売を開始してから、とても好評をいただいています。西尾市で作成した郷土料理レシピ集を付けて販売しており、購入いただいた方に地域の郷土料理について知ってもらえる良い機会になっていると感じています。内容を見直しながら、今後も続けていきたいと考えています。

### ●新規取組について

道の駅にしお岡ノ山より、西尾市の魅力ある農産物や郷土料理を使った弁当を作りたい、という依頼があり、西尾市食育推進会議監修のもと、郷土料理を詰め込んだ驛弁を作成しました。



取組項目：日本型食生活の良さの啓発（取組場面：地域）

## 守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習

扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品

- 実施時期：10月～2月
- 対象者：小学校（4校）3年生～5年生
- 内 容

扶桑町に対する愛着や誇りを育むことを目的とし、地産地消や食育を含め、扶桑町の特産品である守口大根について、扶桑町守口大根漬物組合（生産者）と(株)扶桑守口食品（加工業者）の協力を得て、3年生は種まき・収穫、4年生は漬け込み、5年生は仕上漬けを経て守口漬になるまでを、3年かけて体験しながら学びます。

### ●活動の成果、今後の課題

実際に土や大根を触って体験することで、興味を持ち理解を深めながら学んでいます。本事業を通じ、家庭でも守口大根のことが話題になっているという声を聞き、町の特産品としてより身近なものになっています。

### ●連携について(連携先：扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品)

守口大根の種まき、収穫を行うには生産者団体である扶桑町守口大根漬物組合の協力が必要であり、粕漬け体験を行うには加工業者である(株)扶桑守口食品の協力が必要であるため、連携して取り組んでいます。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

## 食育推進事業～手作りおこしもんでひなまつり～

みよし市

●実施時期：2023年2月25日

●対象者：市民

●内 容

料理体験を通じ、市民に食への関心を持ってもらうとともに、季節行事のひなまつりに、地域で伝わるおこしもんを親子・親族等の親しい人とで作ることで、**「食育」の認知度を広めることを目的として開催しました。**

●活動の成果、今後の課題

4組8名の親子が参加しました。

●連携について(連携先：農村生活アドバイザー)

農村生活アドバイザーは、農業経営や農村生活の向上を図るだけでなく、農業の発展や地域の活性化に寄与することや、農産物の地産地消や食育の推進をしているため。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承 (取組場面：地域)



毎月**19**日は、**おうちでごはんの日**

## 食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組

食べ物の消費と生産の両面からの取組を推進するため、「食生活における環境への配慮の徹底」、「農林水産業への理解と地産地消の推進」及び「農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底」について取り組みました。



### 1 食生活における環境への配慮の徹底

#### 研修会「体によい・環境にもやさしい食品の選び方を考えよう」

オリーブ協議会

- 実施時期：2022年 11月3日
- 対象者：オリーブ協議会の会員他
- 内 容

SDGsを意識した持続可能な社会への取り組みの一つとして、食品ロスの問題からエシカル消費について着目し研修会を開催しました。当日は、名古屋女子大学の堀尾文彦教授から「ビタミンCの働きの基本情報と特徴」、三宅元子教授から「環境ラベルからみたエシカル消費」と題して体によい・環境にもやさしい食品の選び方についてご講演をいただきました。

#### ●活動の成果、今後の課題

参加者からは「とても解り易いく講話していただき、理解することができた」また、「エシカル消費について、知識を深めることができた。これからは食品表示等を意識し環境にやさしい物を購入したい」などの意見を頂きました。

コロナ禍で制限されていたが、今後は調理実習など実際に活動と実践に取り組みたいです。

#### ●新規取組について

コロナ禍で活動が制限されていたので、研修会を開催することにしました。SDGsという言葉を知るようになり、私たちの日々の生活を振り返り、知識を深める必要性を感じ研修会を開催しました。



取組項目：SDGsを意識した環境学習の推進（取組場面：地域）

## あいちエコアクション・ポイント事業

愛知県環境活動推進課

- 実施時期：2023年2月15日～2026年2月中旬（予定）
- 対象者：県民
- 内 容

県民の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、グリーン購入や、飲食店での食べ残しゼロ、フードバンクへの寄付などの環境配慮行動（エコアクション）に対して、愛知県独自のポイント（あいちエコアクション・ポイント）を付与します。

このポイントは、県民が、県内約4,300の参加店舗等において対象のエコアクションを実践した場合に、店舗等に設置する二次元コードをスマートフォンで読み取ることで獲得でき、ポイントを300ポイント貯めるごとにQUO(クオ)カード等の賞品が当たる抽選に1回応募できます。

### ●活動の成果、今後の課題

県民のエコアクションは、グリーン購入1,289回、飲食店での食べ残しゼロ330回、フードドライブへの寄付116回となりました（2023年2月末時点）。

今後は、参加店舗数の増加を図るとともに、本事業の認知度向上に向けた普及啓発を行います。

### ●デジタル化の推進について

ウェブアプリケーションでのシステムを採用し、ポイントは、県民のスマホで獲得できるものです。



取組項目：グリーン購入の普及啓発、暮らしの中で実施できる食に関連する環境配慮行動の推進等（取組場面：地域）

## クッキング教室

新城市

- 実施時期：2023年2月18日
- 対象者：市民
- 内 容

第4次新城市食育推進計画の施策として掲げる「環境にやさしい食生活の推進」を目的として、「エコレシピ」をテーマにクッキング教室を開催しました。レシピの考案及び講師として、農村輝きネット・しんしろに協力いただき、豆ご飯、大根のステーキ、ブロッコリーのポターシュ、茶殻マフィンの4品を作りました。

実施時期が節分の後だったため、余りがちな福豆や普段廃棄している野菜の皮や芯まで活用した、食材を無駄なく使った環境にやさしい料理を作りました。

### ●活動の成果、今後の課題

普段あたり前のように廃棄している野菜の皮や葉なども、アレンジ次第で美味しく料理できるということを知ってもらうきっかけの場を提供したことにより、環境にやさしい食生活の推進につながりました。

今回のクッキング教室で習ったことを家庭でも実践していただくことで、一層の推進につながると考えています。



取組項目：食材の適量購入やエネルギーの節約等、環境に配慮した食生活の実践促進（取組場面：地域）

## 2 農林水産業への理解と地産地消の推進

### あいちの農業用水展

愛知県農地計画課

- 実施時期：8月1日から7日まで
- 対象者：県民
- 内 容

農家や先人の努力の積み重ねにより守り育てられてきた「農業用水」を中心に、「水」の重要性について、広く県民の方の関心と理解を深めてもらうことを目的に、「水の週間(毎年8月1日～7日)」の関連行事として、1991年度から実施しています。

例年は参加型イベントとして開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症第7波による急激な感染拡大を受け、本県の大規模農業用水を紹介する大型のラバーマットの展示を始め、農業農村整備について学べるパネルの展示やPRグッズの配布を名古屋市のイオンモールナゴヤドーム前で実施しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

多くのPRイベントが中止・縮小される中、たくさんの方にご覧いただき、水の大切さや農業用水の歴史等について学んでいただくことができました。

今後も継続してこのようなイベントを開催し、より多くの県民に啓発していくことが必要だと考えます。



取組項目：生物多様性保全や洪水の防止など農林水産業の果たしている役割への理解促進  
(取組場面：地域)

### JA農産物直売所情報誌「フレ」の作成・配布

JA愛知中央会

- 実施時期：通年
- 対象者：愛知県内の一般消費者
- 内 容

愛知県内の一般消費者に対し、愛知県内JAの農産物直売所を広く知ってもらうため、JA農産物直売所情報誌「フレ」を発行しています。

「フレ」では、子育て世代(30代～40代)の女性をメインターゲットとしており、農産物直売所の情報だけではなく、県内各地域の特産物を使った時短レシピなども掲載しています。

また、2店舗以上(複数JA)訪問することで応募できる「デジタルスタンプラリー」も実施しており、各地の農産物直売所をPRしています。

#### ●活動の成果、今後の課題

デジタルスタンプラリーにおけるアンケートでは「農産物直売所には、新鮮な農産物がたくさんあって驚いた」、「地産地消は素晴らしい取り組みだと感じる」といった意見が多くあります。今後は、メインターゲット層が集まるイベントでの配布など、「フレ」による訴求力の向上を図ります。

#### ●デジタル化の推進について

2022年から、デジタルスタンプラリーを実施し、電子応募とすることで気軽に参加してもらえるように工夫しています。



取組項目：直売施設の整備や県民への情報提供の推進 (取組場面：地域)

### 第3回目「愛知を食べる学校給食の日」実施

美浜町学校給食週間「見直そう！地域の食材～地産地消で自給率アップにつなげよう～」

美浜町学校給食センター

●実施時期：2023年1月23日～1月27日

●対象者：美浜町小中学校児童生徒

●内 容

1月下旬の1週間を「学校給食週間」として、美浜町や愛知県産の食材を多用した献立を実施しました。身近な地域で生産される食材を子どもたちに知らせることで、地域の産業への理解を深めるとともに、そのよさを実感し、社会的な課題である食料自給率についても考えさせる機会としました。

本年度は初めて美浜町野間が産地である海苔を地元漁業組合の協力により、手巻き用にして給食に提供することができました。さらに、エリンギや温室トマト、ぼんかんなどの町内産に加え、豆味噌や酒粕など知多半島で生産された食材をふんだんに取り入れた給食週間としました。小中学校には教室掲示用資料と給食時に活用するための放送資料を配付し、児童生徒への啓発を図りました。

●活動の成果、今後の課題

給食週間中、子どもたちは、自分たちの住んでいる地域の食材に興味・関心をもって毎日の給食を楽しんでいました。また、学習内容と関連させたテーマでもあったことから、子どもたちの関心をより高める機会となりました。

課題は、献立が食材の収穫時期より2か月以上前に作成されるので、天候などの影響により、使用量や価格の面で給食に取り入れることが難しい場合があります。実施に向けて、農協や漁協などと連携を取り、綿密な打ち合わせを行うことが必要です。



取組項目：学校給食を活用した子どもへの地産地消の理解促進（取組場面：学校）

## 安城市オリジナルおつまみソースの開発

安城市

●実施時期：7月～3月

●対象者：市民

●内 容

地産地消の推進、地元農産物の消費促進を目的として、安城市出身の料理研究家寺田真二郎氏に監修していただき安城市の特産品であるいちじく及び梨を使用した「オリジナルおつまみソース」の開発を行いました。

3月3日には、おつまみのお披露目会を実施し、市民の方に広くPRしました。

●活動の成果、今後の課題

お披露目会でアンケートを実施し、商品化を希望する声をおおきいただきました。今後は、商品化を目指し、市内で普及促進をしていくことが課題です。

●新規取組について

2019年度に「安城の豊かな水と大地の恵みに感謝し、乾杯する条例」が制定され、地産地消の推進、食文化の振興とまちの活性化を目的とした取組が実施されてきました。

2021年度には安城市の特産品（梨、いちじく、きゅうり、チンゲン菜）を使用したオリジナルカクテルが観光協会主導で開発。

2022年度は、さらなる地産地消の推進と地元農産物の消費促進、オリジナルカクテルの普及を目的として、オリジナルおつまみソースの開発を行うに至りました。



取組項目：地域農林水産物の利活用等に向けた普及啓発（取組場面：地域）

### 3 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

#### ドライブスルー型「フードドライブ」の実施

小牧市

●実施時期：2022年6月17日、2022年12月19日

●対象者：市民

●内容

食品ロスの削減をはじめ、食育の啓発活動として、ドライブスルー型「フードドライブ」を実施しました。市民や職員からレトルト食品、米、飲料などを寄附していただきました。集まった食品は、小牧市善意銀行に寄附し、生活困窮者支援につなぎました。

●活動の成果、今後の課題

取組みを知った市民の方や企業さんから今後も協力したいなどの相談が数件あり、廃棄食品の削減、食品ロス削減への意識づくりに寄与できたと思います。

●連携について(連携先：小牧市地区民生・児童委員連絡協議会)

小牧市地区民生・児童委員連絡協議会が各地区の支え合い活動として、すでに「フードドライブ」事業を実施しています。こうした情勢のなか、生活に困った方も増えており、感染対策を行いながら、フードドライブ事業を通じた地域の支え合い活動を継続し、食品ロスの削減・食育を推進するため、実施しました。



取組項目：フードバンク活動の企業等への紹介や未利用食品の活用に関する理解促進  
(取組場面：地域)



## 食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村や食育を推進する企業・団体等の関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「多様な関係者による役割分担とネットワークの活用」及び「いいともあいち運動の推進と充実」に取り組みました。



### 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

#### 東三河地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県東三河農林水産事務所

- 実施時期：2022年11月16日
- 対象者：愛知県食育推進ボランティア、市、県
- 内 容

未来を担う子どもたちへの食育の一環である学校給食をテーマに豊橋市曙学校給食センターで、研修交流会を開催しました。当日は、35名が参加し、最新式の施設の見学と地元農産物を使った学校給食の取組と課題に関する講話並びに意見交換を行いました。また、その日に提供される給食を試食しました。



#### ●活動の成果、今後の課題

参加者から「初めて給食の調理工程を見学し、貴重な経験をする事ができた。」「多くの方が栄養バランスを考えて給食に関わっていることに感謝したい。」「充実した研修会だった。」との声が聞かれ、学校給食に関する理解が深まりました。

今後も地域での食育活動に役立つ有意義な研修交流会を企画していきます。

#### ●連携について(連携先：豊橋市曙学校給食センター)

食育拠点としての機能を持つ当給食センターと連携することで、学校給食に関する理解を深め、効果的な研修交流会を開催できると考えました。



取組項目：登録の推進や研修会等による食育推進ボランティアの育成(取組場面：地域)

## 食育啓発用パンフレットの作成・配布

常滑市

- 実施時期：2022年6月～11月
- 対象者：市民、県民
- 内 容

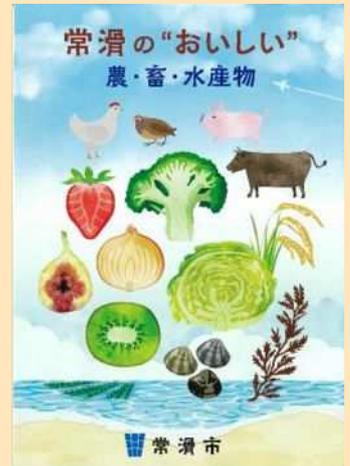
食育関連事業等で活用することを目的に、パンフレットを作成しました。常滑市で生産されている特産物を広く知っていただくために、農畜水産物マップを作成し、食育関連イベントで配布しました。裏表紙には、地産地消の推進を目的とし、国家戦略特区制度を活用して2018年にオープンした2軒の農家レストランも紹介させていただきました。

### ●活動の成果、今後の課題

第17回食育推進全国大会や3年ぶりに開催された常滑市農業まつりで、参加者に配布しました。地元農畜水産物について学び、地産地消について意識してもらう機会となりました。今回パンフレットとともに、鬼崎海苔や知多米を配布したように、今後もより効果的に地産地消について発信・周知する方法を探っていきたいと考えております。

### ●新規取組について

2022年6月に愛知県常滑市で開催された第17回食育推進全国大会をきっかけとして、常滑市内外問わず、常滑のおいしい農畜水産物を知っていただくため、パンフレットを作成することになりました。



取組項目：食育推進資料・食育グッズの作成や各種調査（取組場面：地域）

## 2 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

### 食生活改善事業「寄り道 栄養プチレッスン」

春日井市、株式会社良品計画

- 実施時期：①2022年7月26日、②2023年1月27日
- 対象者：市民
- 内 容

市民の健康づくりを推進するため、株式会社良品計画と連携して講座を実施しました。国内に数箇所しかない無印良品店舗内のキッチンカウンターを利用し、健康増進課の管理栄養士とヘルスマイト（春日井市食生活改善協議会）が30分程度で健康を意識したメニューの紹介、調理及び試食配付をしました（要申込、定員30名）。過去2回の実施では、中年男性の肥満予防メニュー（キャベツとひき肉のトマトミルフィーユ）と若年女性のやせ防止メニュー（サラダチキンと根菜のめかぶスープ）を調理しました。

### ●活動の成果、今後の課題

過去2回の参加者数は①30名、②19名でした。2回目はアンケートを実施し、「手軽にできる」「食材の組み合わせが斬新」等の意見が出て好評でした。また、無印良品で講座を行うことで、若い世代や男性にも啓発をすることができました。

今後も「簡単」「時短」を意識した、実践しやすいメニューの紹介をしていきたいです。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供（取組場面：地域）

## 食育メッセ 2022

岡崎市

- 実施時期：8月～9月
- 対象者：市民
- 内 容

第3次岡崎市食育推進計画の最終年度の評価として、計画期間中に注力し取り組をした重点事項等の成果の集大成を市民に周知し、市全体で食育の推進を図ることを目的としました。施設見学や農業体験、料理教室、食育講演会などの食育企画を様々な実施主体と連携を図りながら地域分散型で行い、市内の様々な場所で食育を学び・実践し・継承する機会をつくりました。

### ●活動の成果、今後の課題

開催方法を1か所集合型のイベントではなく、地域分散型としたことで、コロナ禍ではありましたが、農業体験などさまざまな企画を実施することができました。募集定員を超える応募のあった企画が多く、市民が食育について考えるきっかけとなりました。より多くの事業所と協働し、市全体のイベントとなるよう、引き続き多様な関係者と連携、協力できる体制を構築していく必要があります。

### ●連携について(連携先：岡崎まちゼミの会、岡崎市食品衛生協会等関係団体・事業者)

分散型のイベントを開催するにあたり、市の中心地域で事業者それぞれの専門性をいかした分散型の企画を開催している岡崎まちゼミの会と連携、共催し実施しました。第3次食育推進計画の集大成としてのイベントであることから、これまでのつながりを活かし、協働事業実施団体・事業者、協定事業者等などと連携・協働し食育メッセ2022の企画を実施しました。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供  
(取組場面：地域)

## 地産地消啓発イベント（愛知県立安城農林高等学校）

安城市

- 実施時期：1月
- 対象者：市民
- 内 容

「食（食育）」に関わりが深い愛知県立安城農林高等学校の生徒が生産した農作物や加工品、プロジェクトの学びの発表の場として市役所食堂を提供しました。また、安城農林高校の活動を通じて市民へ地産地消を啓発しました。

### ●活動の成果、今後の課題

食堂が安城農林高校産の農産物や加工品を使用したメニューを提供することで、農林高校と市民がつながる貴重な機会となっています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、生徒による販売は中止し、教諭が対応しました。

### ●連携について(連携先：(株)勤労食、愛知県立安城農林高等学校)

(株)勤労食から地元農業高校で生産された農産物が利用できないか相談があり、市が高校へ働きかけました。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供  
(取組場面：地域)

### 3 いいともあいち運動の推進と充実

#### いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーを実施

愛知県食育消費流通課

●実施時期：2022年11月1日～2023年1月31日

●対象者：県民

●内容

地産地消のより一層の推進を図るため、「地産地消あいちデジタルスタンプラリー」を実施しました。

県産農林水産物を積極的に扱う産地直売所や飲食店等の「いいともあいち推進店」を巡ってスタンプを2個以上集め、特設Webサイトから応募された方のうち、抽選で100名に、愛知の特産品等をプレゼントしました。デジタルスタンプラリーは、県内の「いいともあいち推進店」156店舗で実施され、延べ3,000名以上に参加いただきました。

●活動の成果、今後の課題

産地直売所や飲食店等に足を運び、県産農林水産物の購入などを経験していただくことで、地産地消の一層の理解促進と実践を促すことができました。今後も同様の取組を継続し、より多くの県民が県産農林水産物に接し、継続的に購入できる機会を創造していきたいと考えています。

●デジタル化の推進について

スマートホンやタブレットを活用して気軽に参加できるよう、特設Webサイトを開設し、デジタル方式によるスタンプラリーを実施した。また、Webコンテンツへの誘導やSNSとの連動等、他のデジタルコンテンツと相乗効果が図るよう工夫しました。



取組項目：いいともあいち推進店の拡充など県産品の購入・消費の機会の拡大  
(取組場面：地域)



「いいともあいち運動」って知ってる？

県内の消費者と生産者が  
今まで以上にいい友関係になる

[ Eat more Aichi products ]  
(イートモアアイチプロダクツ)

もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)



## IV 県や関係団体の取組一覧

2022年度に県や関係団体などが実施した、食育の取組で報告のあった251件の一覧は次のとおりです。「Ⅲ 2022年度の主な取組の状況」で紹介した取組以外の各取組の詳細については、愛知県食育消費流通課までお問い合わせください。

食を通じて健康な体をつくる 		
ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	離乳食教室	7
東浦町健康福祉部健康課（保健センター）	赤ちゃん教室 もぐもぐ編	
東浦町健康福祉部健康課（保健センター）	赤ちゃん教室 かみかみ編	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	おやつレシピ紹介及び配布	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	離乳食レシピの回覧及び配布	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
春日井市立坂下北保育園	食育指導	
春日井市立第二保育園	食育指導、野菜栽培、今日の献立、歯磨き指導	8
尾張旭市立川南保育園	2歳児のベビーリーフ栽培	
長久手市	上郷保育園栄養士による食育活動	
大口町	食育情報の共有と町制60周年記念給食の発信（食育担当者実務者会議）	8
武豊町役場子育て支援課	懐かしの味「六貫山たくあん」を漬けよう	
碧南市社会協議会 西端保育園	碧南人参の日	
愛知県栄養教諭研究協議会	学校で使用する食育教材「あいちの農産物資料集」を活用した地産地消の推進	
南知多町教育委員会	食に関する指導	
刈谷市学校給食センター	家庭科授業「どんな食事がよいのか考えようの学習」	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市学校給食センター	小学校2年生を対象とした給食訪問指導「食まるパワーのひみつを知ろう」	9
刈谷市学校給食センター	「食生活に関するアンケート」の実施	
豊橋市立くすのき特別支援学校	くすっ子、花まるごはんで元気アッププロジェクト	9
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
岡崎市	おかざき健康・食育だより「まめ吉通信」	
碧南市経済環境部商工課	醸造のまち継承事業	
碧南市立大浜小学校、棚尾小学校、中央小学校、日進小学校、鷺塚小学校	ニンジン講習会	
西尾市産業部農水振興課	良いきゅうりの日～ふれあい授業と学校給食への寄贈～	
西尾市産業部農水振興課	西尾市観光協会食部会による食育講座	10
長久手市	給食センター施設見学試食会	
長久手市	給食だよりの発行	
岡崎市教育委員会学校給食センター	学校給食レシピ紹介	10
愛知県小中学校長会 給食委員会	小中学校の食育に関する先進的取組事例の紹介	11
尾張旭市、尾張旭市教育委員会	健康朝食メニュー「簡単！野菜もプラス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」(公募)	
長久手市、食と健康を考える会	朝食講座	
豊橋市保健所こども保険課	食生活について考えよう	
豊橋市	成長期のスポーツ栄養セミナー	
豊田市	高校生向けオンライン授業の実施	
愛西市食育推進専門部会	男子自立クッキング	
尾張旭市	ヤングのうちから健康みつめ隊	
津島市	YouTubeによる食育の発信	
みよし市	食育講演会	
田原市農政課	高校生朝ごはんプロジェクト	11

取組主体、団体名	取組名称	ページ
生活協同組合コープあいち	『BDHQ』・『ベジチェック』を使った食を通じた健康づくり支援	
北名古屋市保健センター（食生活改善推進協議会・北名古屋市役所生涯学習課）	「おうちごはん」を考えよう！働く世代のバランス献立 立て方講座	12
蟹江町	「時間栄養学」講座	
豊橋市	I C Tを活用した糖尿病予防	
カゴメ株式会社、エーテンラボ株式会社、神奈川県立保健福祉大学、豊橋市	健康経営向けSDGs貢献につながる みんなで野菜食べようチャレンジ	12
尾張旭市	妊産婦栄養教室 だし活のすすめ～おうちで和食～	
岩倉市	プレママと産後ママの交流会	13
長久手市、食と健康を考える会	離乳食教室	
尾張旭市長寿課	シニアのための栄養講座	
東郷町	65歳の方のための出張講座「シニア世代に必要な食事～低栄養予防って？～」	
東郷町	男性のための料理教室 簡単・おいしい・栄養満点教室	
東郷町	メタボ対策からフレイル予防へギアチェンジの巻 これで体丈夫（だいじょうぶ）教室	13
碧南市健康推進部健康課	高齢者への糖尿病予防レシピ配布と試食	
刈谷市	65歳からのやさしい栄養教室	
刈谷市教育委員会生涯学習課	地域を学ぶ講座	
春日井市	春日井市配食サービス利用助成事業	14
半田市福祉部健康課	健康サポーター養成講座	

### 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市立くすのき特別支援学校	特別支援学校における児童生徒に対する肥満指導（食生活改善）	
刈谷市学校給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
一般社団法人 愛知県歯科医師会	第12回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
一般社団法人愛知県歯科医師会	第17回食育推進全国大会inあいちへの参画	14
日進市健康福祉部健康課	プチ食育・プチむし歯予防講座	
大府市健康づくり食育推進協議会	噛むカム幼児教室	15
尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場	
尾張旭市	糖尿病重症化予防教室 STOP! 糖尿病	
尾張旭市	タニタ健康づくり教室	15
豊明市健康推進課、食生活改善推進委員	とよあけヘルシーレシピの普及	
半田市福祉部健康課	野菜の手ばかり目ばかり	16
東海市	料理レシピサービス「クックパッド」を利用したメニューの情報発信	16
知多市健康推進課	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」	17
豊橋市保健所 健康増進課	食改さんのヘルシークッキング	
岩倉市食の健康づくり推進員	健康フェア（市民ふれ愛まつり）	
知多市健康推進課	食育の日啓発キャンペーン「はじめよう!朝ベジ習慣」	
安城市	旬の食材を使用したレシピの提供	

### 食の安全・安心に関する信頼の構築

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県県民生活課	消費生活モニターに対する情報提供	
一般社団法人愛知県薬剤師会	健康食品に関する情報提供	17
尾張旭市	食育推進講演会及び学校給食試食会	
尾張旭市	給食センター見学	
愛知県子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
尾張旭市立西部保育園	尾張旭市学校給食センターの見学	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	あさびースマイル給食	
日進市	保育園給食献立表への食物アレルギー啓発記事の掲載	18
岡崎市	食物アレルギーに対する理解を深める	
へきなんこども園	除去食	
小牧市	「ユニバーサル給食」の実施	18
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	

## 食を通じて豊かな心を育む



### 食を楽しむゆとりの積極的な確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市立岩成台保育園	食材への興味・関心を引き出す取組	
春日井市青少年子ども部保育課 玉川保育園	和食の日の献立を通して和食に関心・興味をもつ	19
春日井市立上八田保育園	日常保育における食育	
春日井市立前並保育園	食育指導 野菜、稲の栽培	
春日井市立大手保育園	園内で野菜等の栽培 食育の日（行事食）	
春日井市立桃山保育園	野菜の栽培・収穫・地域交流	
春日井市立藤山台保育園	野菜の栽培	
春日井市立柏原西保育園	月1度開催の「食育の日」と園内で野菜等の栽培	
春日井市立白山保育園	おにぎり作りを通して、食への興味や関心を高める	
春日井市立味美保育園	給食の展示	
尾張旭市立藤池保育園	子どもたちの食への興味・関心を広げ、食べる意欲に繋げていく	
日進市	食材に親しむ体験の実施	20
愛西市立佐屋中央保育園	献立ボードをつくろう！	20

取組主体、団体名	取組名称	ページ
阿久比町	学校給食週間での郷土料理体験	
へきなんこども園	献立について	21
社会福祉協議会 棚尾保育園	碧南人参の日	
碧南市立鷺塚保育園	おやつの野菜の皮むき体験	
刈谷市立双葉保育園	給食サンプルの展示、小玉メロン・小玉スイカの栽培・収穫	
岩倉市	「いわくらをたっぷり味わおう週間」	21
安城市	S N Sを利用した食育啓発事業	
安城市	地元農畜産物通販サイト「おいしいあんじょう」	

### 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市	フィンランド式食育体験	22
春日井市立貴船保育園	野菜を育てよう	
春日井市立出川保育園	野菜栽培	
春日井市立 坂下南保育園	野菜の栽培・収穫体験 地域交流	
春日井市立第一保育園	どんな野菜を育てよう	
春日井市立勝川北部保育園	保護者、園児に向けた給食の展示	
春日井市立松原保育園	スイカの栽培・実食	
春日井市立神領保育園	野菜の栽培	
春日井市立瑞穂保育園	食育・野菜の栽培	
春日井市立追進保育園	育てたスイカの実食	
春日井市立柏原保育園	夏野菜の栽培	
尾張旭市立中部保育園	ホットケーキの調理体験	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市立本地ヶ原保育園	野菜の栽培	22
尾張旭市立西山保育園	野菜の栽培	
尾張旭市立あたご保育園	野菜の栽培・調理の手伝い	
尾張旭市立柏井保育園	さつまいもの栽培・調理	
長久手市	長湫東保育園 園児のカレー作り	
東郷町立中部保育園	野菜の栽培から旗作りへ	
東郷町立和合保育園	野菜作りを通して、食への関心を育てる	
豊山町立富士保育園	園としての食育計画 ～お祝いの赤飯を作ろう～	23
愛西市立保育園（佐屋北・佐屋中央・佐織）	魚おろし見学	
蒲郡市子育て支援課	夏の野菜を知ろう！育てよう！食べてみよう！	
へきなんこども園	家庭菜園・稲作	
碧南市立羽久手保育園	保育園で野菜を育てよう	
碧南市社会福祉協議会 荒子保育園	地域の方と触れ合う収穫体験	
碧南市社会福祉協議会 大浜保育園	夏野菜の栽培	
碧南市立棚尾幼稚園	再青会（地区の高齢者）の方との交流と収穫体験	
碧南市立築山保育園	野菜を育てて	
碧南市立天道保育園	ブロッコリーの栽培	23
二葉保育園（碧南市）	野菜の栽培体験	
碧南市立日進保育園	ふれあい農園での玉ねぎ苗さし体験	
碧南市地産地消推進協議会（碧南市健康づくり食ボランティア協議会、生活協同組合コープあいち）	エプロンシアターの開催	
刈谷市立富士松南保育園	野菜を育てよう	
刈谷市立さくら保育園	野菜を栽培、収穫してみんなで食べよう！	
刈谷市立かりがね保育園	野菜を栽培。収穫して食べよう	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市立日高幼稚園	野菜栽培	
刈谷市立富士松北幼稚園	J A あいち中央と連携しての大根栽培	
吉浜さんさん保育園（高浜市）	さつまいもの栽培・収穫をして調理しよう	24
愛知県食生活改善推進員協議会＜豊橋市食生活改善協議会＞	豊橋市「食育教室 三つのお皿」	
一宮市保健所 健康支援課	こどもクッキングいちのみや	24
江南市	親と子の栄養教室	25
尾張旭市	夏休み！親子で探検給食センターわくわくツアー	
飛島村健康づくり食生活改善協議会	おやこの食育教室	
蒲郡市農林水産課	親子魚料理教室	25
碧南市民図書館中部分館	スペシャルおはなし会「やさいのおはなしと手形スタンプを楽しもう」	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！親子でさつまいも掘り	
西尾市産業部農水振興課	米づくり体験授業	
幸田町	幸田町子ども食育体験教室	26
蒲郡市農林水産課	蒲郡子ども農業教室	
公益財団法人愛知県学校給食会	2022 あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
愛知県教育委員会保健体育課、公益財団法人愛知県学校給食会東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
尾張旭市	あったらいいなこんな給食	
愛西市教職員会 栄養教諭部会	あいさいさん☆給食コンクール	
岡崎市	学校給食メニューコンクール	
刈谷市	「家族でほっこり さともさん家の絶品レシピ～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト	26
西尾市産業部農水振興課	僕・私を作る！アイデア朝ごはんコンテスト	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム『親子 de 農体験』	
豊橋市	食農教育推進イベント	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）	稲作体験	27
春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）	あい農パーク春日井（春日井市ふれあい農業公園）	
日進市農政課	日進アグリスクール（農学校）の開催	
長久手市	食育イベント（ラムネ作り体験・おやつに関する紙芝居など）	27
刈谷市	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
西尾市産業部農水振興課	親子で稲刈り体験&ポン菓子づくりを見てみよう！	
西尾市産業部農水振興課	魚をみて・さわって・さばいて食べよう！親子で魚食教室	
豊川市産業環境部農務課	第10回とよかわおもてなしレシピグランプリ！	28
東郷町	親子で有機野菜づくり体験	
一般社団法人愛知県薬剤師会	あいち健康の森薬草園イベント	

### 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

取組主体、団体名	取組名称	ページ
蒲郡市学校給食課	応募献立の募集・実施	
愛知県教育委員会保健体育課	愛知を食べる学校給食の日	
弥富市小中学校	地元の旬を味わう和食給食の日	28
あま市	「愛知を食べる学校給食の日」の実施	
刈谷市学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	
西尾市産業部農水振興課	愛知を食べる学校給食の日～JA西三河から新鮮野菜寄贈～	
西尾市産業部農水振興課	道の駅にしお岡ノ山における「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売	29
尾張旭市	農政講座「米粉ケーキサレ作り」「キャラ弁作り」「みそ作り」	
日進生活改善実行グループ・日進市農政課	伝承料理レシピの紹介	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
日進生活改善実行グループ・日進市農政課	伝承料理講習会・親子伝承料理講習会	
長久手市	味噌づくり体験	
長久手市平成こども塾	学校連携事業	
東郷町役場健康推進課	郷土料理・行事食周知	
扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	29
岡崎市	食文化継承料理講習会	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！コンニャクをつくろう	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！親子でうどんを打とう	
みよし市	食育推進事業～手作りおこしもんでひなまつり～	30

## 食を通じて環境に優しい暮らしを築く



### 食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県環境調査センター	中高年・シニア環境学習推進事業	
愛知県環境活動推進課	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減環境学習プログラムによる普及啓発の実施	
刈谷市学校給食センター	中学校1年生を対象とした給食訪問	
日進市	無農薬・有機栽培お米作りの1年を体験しよう	
オリーブ協議会	研修会「体によい・環境にもやさしい食品の選び方を考えよう」	31
刈谷市	エコ料理講座	
愛知県県民生活課	消費生活情報「あいち暮らしっく」の発行	
愛知県環境活動推進課	あいちエコアクション・ポイント事業	32
愛知県環境活動推進課、企業、環境配慮団体	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	家庭用生ごみ処理機等購入補助	
愛知県県民生活課	エシカル消費普及啓発事業	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減イベントの開催	
春日井市、かすがい環境まちづくり パートナーシップ会議、東邦ガス ネットワーク株式会社	親子で楽しくエコ・クッキング	
尾張旭市	3キリ運動	
新城市	クッキング教室	32
愛知県産業振興課	環境啓発用パンフレット作成	
日進市環境課	フードドライブの実施	
豊橋市環境部ゼロカーボンシティ推 進課	食品ロス削減のための「かん田きょう子さん」オリジナ ルPOPとマグネット無料配布キャンペーン	

### 農林水産業への理解と地産地消の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
J A 愛知中央会	農業教育用資料「愛知の農業」（冊子・DVD）の作 成・配布	
愛知県農地計画課	あいちの農業用水展	33
愛知県農地計画課	農地・水・環境のつどい	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議 会	学校給食への地場食材利用拡大	
へきなんこども園	碧南人参の日の食育活動	
愛知県水産課	「あいちのおさかなカードキャンペーン」の実施	
J A 愛知中央会	J A 農産物直売所情報誌「フレ」の作成・配布	33
尾張旭市	ふれあい給食	
美浜町学校給食センター	第3回目「愛知を食べる学校給食の日」実施 美浜町学校給食週間 「見直そう！地域の食材～地産地消で自給率アップにつ なげよう～」	34
美浜町役場産業課、健康・子育て課、 学校給食センター	有機農業の日に合わせて学校給食で地元有機栽培野菜を提 供	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
碧南市学校給食センター	地場産物「赤しそ」・「味来」を使った給食献立	
みよし市	まるっと愛知県産給食	
安城市	旬の食材を使用したメニューの販売	
安城市	地産地消の啓発	
安城市	おいしいあんじょうアンバサダー	
安城市	安城市オリジナルおつまみソースの開発	34

農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市	環境保全型農業直接支払事業補助金	
愛知県水産課、県内漁業者	県内における資源管理の促進	
東郷町役場環境課	フードドライブ	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム	
小牧市	ドライブスルー型「フードドライブ」の実施	35

食育を支える 		
食育にかかる人材の育成と活動の充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
美浜町役場健康・子育て課 子育て支援係 栄養士	保育所給食訪問	
へきなんこども園	食育カリキュラム	
愛知県小中学校長会 給食委員会	小中学校の食育推進体制等に関する実態調査とその報告	
愛知県知多農林水産事務所	知多地域食育推進ボランティア研修交流会	
愛知県東三河農林水産事務所	東三河地域食育推進ボランティア研修交流会	36

取組主体、団体名	取組名称	ページ
稲沢市健康推進課	稲沢市食生活改善員活動支援	
岩倉市	岩倉市食の健康づくり推進員研修会	
愛知県漁業士協議会	料理講習会による魚食普及活動	
常滑市	食育啓発用パンフレットの作成・配布	37
西尾市産業部農水振興課	食育啓発用グッズの作成	

### 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市、株式会社良品計画	食生活改善事業「寄り道 栄養プチレッスン」	37
日進市農政課・日進生活改善実行グループ・日進野菜研究会・ハーブの小径	第17回食育推進全国大会への出展	
岡崎市	食育メッセ2022	38
安城市	地産地消啓発イベント（愛知県立安城農林高等学校）	38
安城市	名古屋文理大学との連携事業	
安城市	愛知学泉大学との連携事業	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	地域の活動拠点の提供	

### いいともあいち運動の推進と充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーを実施	39

# V 食育推進に関する問い合わせ先

## ◎愛知県

名 称	電話・ファクシミリ	Eメール・URL
農業水産局農政部 食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/">https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/</a>
保健医療局健康医務部 健康対策課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6271 FAX 052-954-6917	E-mail kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/</a>
教育委員会事務局教育部 保健体育課 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail hoken-taiiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/</a>

## ◎関係団体等

名 称	電 話	Eメール・URL
愛知県栄養教諭研究協議会	—	<a href="https://www.aichi-ek.com/">https://www.aichi-ek.com/</a>
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	<a href="https://www.aikeikyo.com/">https://www.aikeikyo.com/</a>
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-892-2616	(問合せ先 名古屋市立鳴子幼稚園)
愛知県小中学校PTA連絡協議会	052-251-8820	<a href="http://www.aichi-syoucyuu-p.com/">http://www.aichi-syoucyuu-p.com/</a>
愛知県小中学校長会	052-261-8152	<a href="http://aikochu.ec-net.jp/">http://aikochu.ec-net.jp/</a>
愛知県食生活改善推進員協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	<a href="https://www.chu.aichi-ja.or.jp/">https://www.chu.aichi-ja.or.jp/</a>
愛知県農業経営士協会	052-954-6412	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	<a href="https://www.aichi8020.net/">https://www.aichi8020.net/</a>
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	<a href="http://aichi-chori.or.jp/">http://aichi-chori.or.jp/</a>
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-953-4555	<a href="https://www.apha.jp/">https://www.apha.jp/</a>
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	<a href="http://aigaku.org/">http://aigaku.org/</a>
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0203	<a href="http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm">http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm</a>
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4138	<a href="https://www.aichi.med.or.jp/">https://www.aichi.med.or.jp/</a>
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	<a href="https://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp/">https://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp/</a>
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	<a href="https://www.aichi-fukushi.or.jp/">https://www.aichi-fukushi.or.jp/</a>
生活協同組合コープあいち	052-703-6022	<a href="http://coopaichi.tcoop.or.jp/">http://coopaichi.tcoop.or.jp/</a>
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	<a href="https://www.rengo-aichi.or.jp/">https://www.rengo-aichi.or.jp/</a>
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052-954-6396（ダイヤルイン）

E-mail [shokuiku@pref.aichi.lg.jp](mailto:shokuiku@pref.aichi.lg.jp)

Webサイト「食育ネットあいち」

<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>



ロゴマーク等デザイン

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



食育ネットあいち



<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>